

尼崎アスベスト(労災型)裁判 控訴審第二回審理! 大阪高裁に集まろう!

12月4日(金) 午前10時30分~

集合場所 **大阪高等裁判所 南の広場** (大阪高裁の真南)

9月4日の控訴審第一回審理では、原告の藤原ノリエさんが「地裁判決は許せない。もう一度、立ち上がることにしました」、山本美智子さんが「クボタや国の責任が認められるのは当たり前。高裁は私たちの声に耳を傾けて」、と意見陳述し、満席の傍聴者の胸を打ちました。

弁護団は、控訴理由書を提出しました。労働者の命よりも産業を優先させ、国・加害企業の責任を不問とする不当な地裁判決を、厳しく批判し、①「安産配慮義務」は抽象的危険・危惧があれば予見可能性があったとした判例を踏みにじった、②遅くとも1964~65年ころまでに確立していた予見可能性を無視した、③被害者・山本、藤原両氏の「アスベスト曝露濃度が低かった」とする地裁判決は、アスベスト被害の実態を無視したもの、等々を主張しています。

大阪高裁での第二回の審理が12月4日午前11時から開かれます。202号法廷(大法廷)です。傍聴席を埋め尽くしましょう。多くのみなさんの参加をお願いします。



集合場所：大阪高裁の南側広場

裁判後の報告集会は、大阪弁護士会館12階会議室

アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会

連絡先・尼崎市長洲中通2丁目1-3 電話・FAX 共通 06-6489-2600

ホームページ <http://www.asbestos-ama.net/> メール asubesutoama05@bca.bai.ne.jp

アスベスト健康被害に関するご相談は、お気軽にお寄せください

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

371号

2015年11月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第94回医療と福祉を考える会を開催

一人ひとりに応じた トレーニングを



実際に体操を行いながらロコモについて学んだ

尼崎支部は10月22日、第94回医療と福祉を考える会をデイサービスめばえで開催した。今回は、綿谷茂樹副支部長(わたや整形外科)が「寝たきりを防ぐ、ロコモーショントレーニング」をテーマに講演、医師・看護師・ケアマネジャーなど37人が参加した。参加者の感想文を掲載する。

先日「寝たきりを防ぐ、ロコモーショントレーニング」の講演会に参加しました。デイサービスに勤務する私にとって、とても有意義な講演会でした。

デイサービスにはロコモーショントレーニングが必要な利用者様が大勢いらっしゃいます。定期的に来所されるデイサービスでトレーニングをすれば継続的なトレーニングを行うことができると思いました。しかしただ言われることを繰り返し行うだけの体操では効果も期待できないだけでなく、続けることが苦痛になるということがわかりました。興味を持って取り組むことができるように、目的を伝えてから運動を行う、興味やレクリエーションを取り入れた運動を取り入れる、など工夫したトレーニングを行っていこうと思いました。(2面につづく)

(1面のつづき)

また、ただの体操ではなくリハビリとしての視点を持つことを常に意識することも大切だと感じました。短期的、長期的に評価し、効果的だったところはどこなのか、効果がなかったのはなぜなのか、どうメニューを変更していくのかを考えながらトレーニングを行っていく必要があると思いました。それと同時に効果的なトレーニングができるように必要な介助をしていくことも大切だと思いました。

デイサービスに来られる利用者様の運動機能レベル、理解力のレベルは様々です。ロコモの原因も様々です。集団でトレーニングを行う場合でも一人ひとりに応じたトレーニングが提供できるように声かけや介助を行っていこうと思います。たくさんの方の種類のロコモ度の評価方法やトレーニングの方法を教えてくださいました。さっそく明日からのトレーニングに取り入れて行こうと思います。

【デイサービスめばえ・看護師 川辺佳寿美】

支部会員の先生方へ

未入会のお知り合いの先生、 ご子弟に入会を是非おすすめください

保険医協会は県下で7,200人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

協会未入会のお知り合いの先生、ご子弟に是非、入会をおすすめください。



支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail naga@doc-net.or.jp 担当：長澤まで

尼崎アスベスト

クボタ本社へ謝罪要請行動

クボタは責任を認めて謝罪を



雨の中75人が本社前に駆け付けた

今年2月に最高裁決定で株式会社クボタの加害責任が断罪されたが、いまだに謝罪しない同社大阪本社に対して「アスベスト被害からのちと健康を守る尼崎の会」は謝罪要請行動を11月17日に行い、75人が参加した。

クボタ旧神崎工場(尼崎市)周辺の住民が中皮腫により死亡したのは、工場からのアスベスト飛散が原因と遺族が訴えていた裁判は、クボタに対する3200万円の賠償責任が確定している。同社は賠償金を遺族に振り込んだが、最高裁決定から9カ月経ってもいまだに被害者への謝罪をしていない。

クボタ発表によれば今年9月末現在、旧神崎工場周辺住民279人が中皮腫やアスベスト関連疾患に罹患して死亡という甚大な被害が出ている。さらに同社社員犠牲者も195人で、あわせて474人が犠牲となっている。今後も増え続けるアスベスト被害者の真の救済のためには、クボタは周辺住民への責任を認めて謝罪することが求められている。

協会尼崎支部は「尼崎の会」に加盟、八木秀満支部長が代表委員を務めている。

尼崎アスベスト・労災型裁判支援署名にご協力下さい

尼崎支部では、上記の公害型のほかに、労災型のアスベスト裁判を支援している。労災型裁判は、旧神崎工場内などで死亡した労働者の遺族が、国とクボタを相手に提訴した裁判で、公平・公正な判決を求める署名に取り組んでいる。署名にご協力いただける先生は、ご一報下さい。電話078-393-1809 石本まで